EDGECROSS CONSORTIUM

イベント収集 IT ゲートウェイ

ユーザーズマニュアル

ECP-GW1-W-EVENT(サンプル品)

ECD-MA5-0002-01-JA

安全上のご注意

（ご使用前に必ずお読みください）

本ソフトウェアのご使用に際しては，本マニュアルをよくお読みいただくと共に，安全に対して十分に注意を払って，正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

本マニュアルで示す注意事項は，本ソフトウェアに関するもののみについて記載したものです。

Edgecross 対応製品(ハードウェア，ソフトウェア)についてはそれぞれのマニュアルを参照してください。

この「安全上のご注意」では，安全注意事項のランクを「⚠警告」，「⚠注意」として区分してあります。

⚠警告	取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。

⚠注意	取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお，⚠注意に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本マニュアルは必要なときに読めるよう大切に保管すると共に，必ず最終ユーザまでお届けいただくようお願いいたします。

[設計上の注意事項]

⚠注意

- **本製品を搭載した産業用 PC の強制電源 OFF が実施されるような操作を行わないでください。**
  本製品を搭載した産業用 PC の強制電源 OFF が実施されるような操作を行うと，データが不定となり，再設定・再反映が必要となります。また，本製品の誤動作の原因となります。

本ソフトウェアの適用について

(1) 本ソフトウェアをご使用いただくにあたりましては，万一ソフトウェアに不具合などが発生した場合でも重大な事故にいたらない用途であること，および不具合発生時にはバックアップやフェールセーフ機能が機器外部でシステム的に実施されていることをご使用の条件とさせていただきます。

(2) 本ソフトウェアはサンプル品であるため、Edgecross コンソーシアムは，本ソフトウェア及び本ソフトウェアを使用した製品の品質，性能，安全に関る一切の責任(債務不履行責任，瑕疵担保責任，品質保証責任，不法行為責任，製造物責任を含むがそれらに限定されない)を負わないものとさせていただきます。

海外での使用につきまして

海外(輸出するとき，海外に持ち出すとき，国内で非居住者に使用させるとき)で本ソフトウェアを使用する場合は，外国為替及び外国貿易法の規制，米国輸出管理規則など外国の輸出関連の各法令を遵守するとともに，各種手続きが必要となる場合があります。詳しくは，Edgecrossコンソーシアム事務局までお問い合わせください。

はじめに

本マニュアルは，イベント収集 IT ゲートウェイのご使用方法についてご理解いただくためのマニュアルです。

ご使用前に本マニュアルをよくお読みいただき，イベント収集 IT ゲートウェイの機能・性能を十分ご理解の上，正しくご使用くださるようお願いいたします。

目次

安全上のご注意 2
本ソフトウェアの適用について 3
海外での使用につきまして 3
はじめに 4
目次 5
関連マニュアル 6
用語 7
1 イベント収集 IT ゲートウェイとは 8
1.1 概要 8
1.2 動作概要 8
1.3 イベント収集 IT ゲートウェイの構成 9
2 仕様 10
2.1 機能仕様 10
3 利用手順 11
4 インストール手順・確認 12
4.1 インストール手順 12
4.2 インストール確認 12
5 機能 13
5.1 イベント収集機能 13
動作仕様 14
6 IT ゲートウェイ設定 20
6.1 初期設定 20
7 パラメータ設定 29
7.1 ファイル出力設定画面 29
7.2 ポート番号設定画面 30
7.3 イベント収集制御画面 31
7.4 TriggerForm 画面 32
7.5 ActionSettingForm 画面 33
8 動作手順 34
8.1 動作開始 34
8.2 動作停止 34
8 トラブルシューティング 35
8.1 エラー内容の確認方法 35
8.2 エラーコード一覧 35
8.3 イベントコード一覧 35
8.4 Windows セキュリティブロックの対策 36
索引 37
改訂履歴 39
Edgecross コンソーシアムからのご案内 40

商標 40
ソフトウェアに関するお問い合わせ 41

関連マニュアル

マニュアル名称[マニュアル番号]	内容	提供形態
イベント収集ITゲートウェイユーザーズマニュアル [ECD-MA5-0002-01-JA](本マニュアル)	イベント収集ITゲートウェイの仕様，操作手順，機能，トラブルシューティングなどについて記載しています。	PDF
Edgecross基本ソフトウェアWindows版ユーザーズマニュアル [ECD-MA1-0001-07-JA]	Edgecross基本ソフトウェアの仕様，運転までの手順，機能，トラブルシューティングなどについて記載しています。	PDF

用語

本マニュアルでは，特に明記する場合を除き，下記の用語を使用して説明します。

用語	内容
Edgecross	エッジコンピューティングを核として，FAとITの連携による製造業のソリューションを実現するための仕様，コンセプトと，それを実装したソフトウェア・プラットフォームです。
Edgecross基本ソフトウェア	Edgecrossの機能を実装したソフトウェア製品名です。
データコレクタ	各ネットワークを介し，生産現場のデータを収集するソフトウェアコンポーネントで，各種ネットワークおよび接続対象機器向けに各ベンダが提供します。
データモデル管理	生産現場の機器･装置･ラインを抽象化し，階層的に管理する機能です。
ハンドシェイク	データ通信において確実にデータが伝達されたかを確認しながら行う通信手段です。
マネジメントシェル	データモデル管理機能を実装したWindows版のソフトウェアコンポーネントです。
マネジメントシェルエクスプローラ	マネジメントシェルが管理するデータモデルの設定および参照を行うソフトウェアです。
リアルタイムデータ処理	生産現場のデータのリアルタイム診断・フィードバックを実現する機能です。
リアルタイムフローマネージャ	リアルタイムデータ処理を実装したWindows版のソフトウェアコンポーネントです。

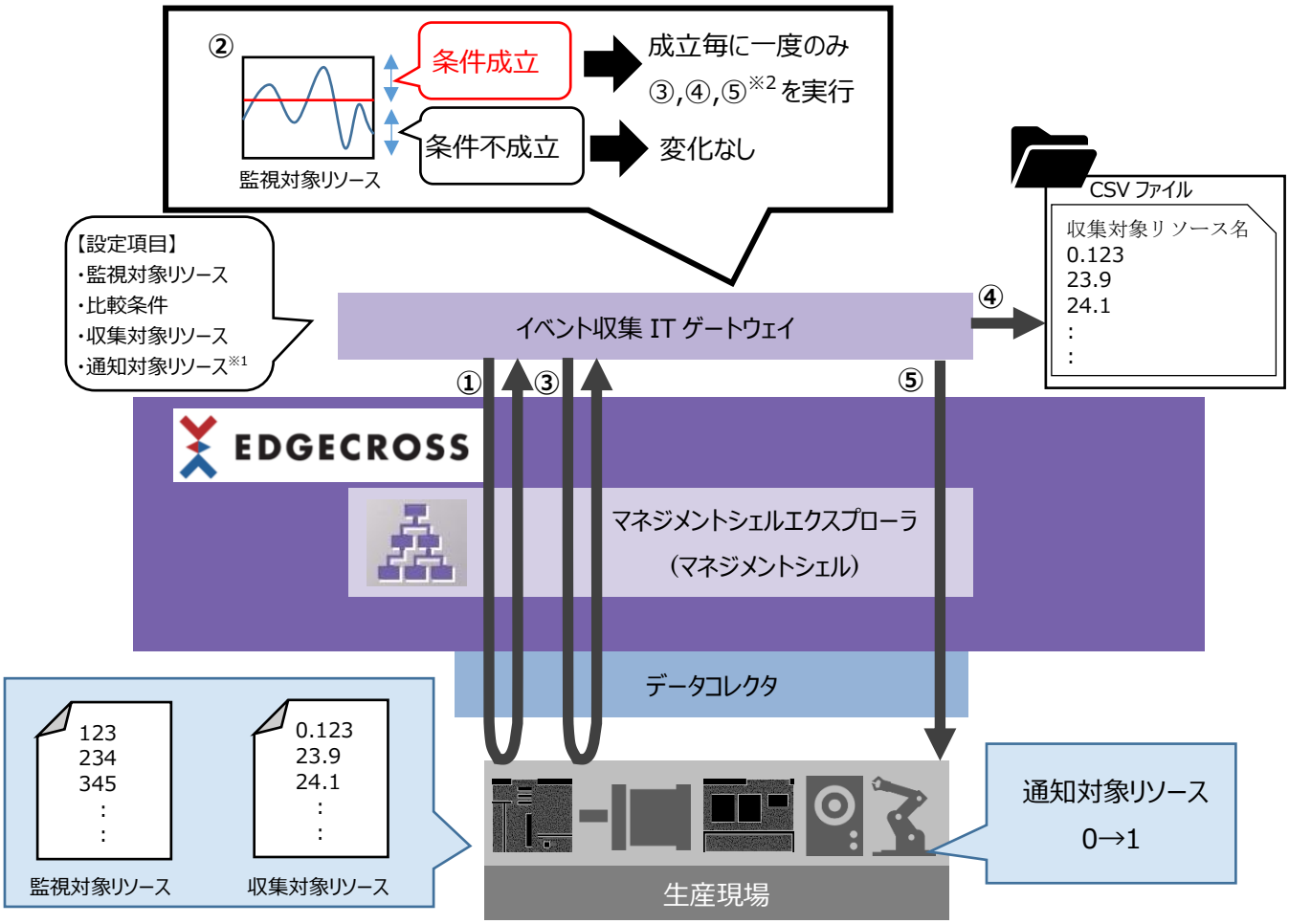
1　イベント収集ITゲートウェイとは

1.1　概要

イベント収集 IT ゲートウェイは，監視対象に指定したデータタグリソースの値が変化したタイミングで，収集対象に指定したデータタグリソースの値を修正し，ファイル形式(.csv)で保存するソフトウェアコンポーネントです。また，書込み対象に指定したデータタグリソースに任意の値を書込むこともできます。

1.2　動作概要

イベント収集 IT ゲートウェイの動作概要を示します。



①　監視対象リソースの値を監視します。

②　監視対象リソースの値を設定した条件で比較し，条件が成立した場合，収集処理を実行します。

③　収集対象リソースの値を収集します。

④　収集したデータをファイル(CSV形式)に出力します。

⑤　収集対象リソースの値を収集後、通知対象リソースに設定した値を書き込みます※2。

※1 設定は必須ではありません。

※2 ※1 を設定した時のみ，実行されます。

1.3　イベント収集ITゲートウェイの構成

構成ファイル

構成ファイルは下記のとおりです。

構成要素	内容
EventITGateway	イベント収集ITゲートウェイの本体が格納されたフォルダ
ITGWMDA_000000_EventITGateway_0001	通信用ライブラリ格納用のフォルダ
SampleMDALibrary.dll	通信用ライブラリ
ITGW_000000_EventITGateway_0001.dll	ITゲートウェイユーティリティ
ITGWMDA_000000_EventITGateway_0001.exe	ITゲートウェイサービス

2　仕様

2.1　機能仕様

イベント収集 IT ゲートウェイの機能仕様を示します。

項目		仕様
対応インタフェース		・モデルアクセスI/F-G ・データアクセスI/F-G
ITゲートウェイ仕様バージョン		1.00
データの表示	データの読み込み	対応
	データの書き込み	対応
	対応するデータ型	・BOOL(0,1) ・INT(-32768～32767) ・UINT(0～65535) ・DINT(-2147483648～2147483647) ・UDINT(0～4294967295) ・LINT(-9223372036854775808～9223372036854775807) ・ULINT(0～18446744073709551615) ・REAL(0, 1.40129846E-45(絶対値)～3.40282346E38(絶対値)) ・LREAL(0, 4.9406564584124654E-324(絶対値)～1.7976931348623158E308(絶対値)) ・STRING※1(文字列(ASCII)32文字以内) ・WSTRING※1(文字列(Unicode)16文字以内)

※1 Edgecross 基本ソフトウェアの仕様に準拠しています。詳細については下記を参照してください。

☞Edgecross 基本ソフトウェア Windows 版ユーザーズマニュアル

対応言語

イベント収集 IT ゲートウェイの対応言語は英語のみです。

3　利用手順

イベント収集 IT ゲートウェイのインストールから動作開始までの手順概要を示します。

(1) インストール

イベント収集ITゲートウェイのインストールを行います。

手順は下記を参照してください。

☞12ページ　4　インストール手順・確認

(2) 動作開始

イベント収集ITゲートウェイの動作を開始します。

設定の手順は下記を参照してください。

☞20ページ　6.1　初期設定

なお、イベント収集ITゲートウェイの各種画面の仕様については下記を参照してください。

☞29ページ　7　パラメータ設定

動作を開始する場合、下記を参照してください。

☞34ページ　8.1　動作開始

(3) 結果の確認

動作開始後、指定したフォルダにCSVファイルが格納されているか、データ書き込み先にデータが書き込まれているかを確認してください。

CSVファイルの保存先、データの書き込み先の設定については下記を参照してください。

☞29ページ　7　パラメータ設定

(4) 動作の停止

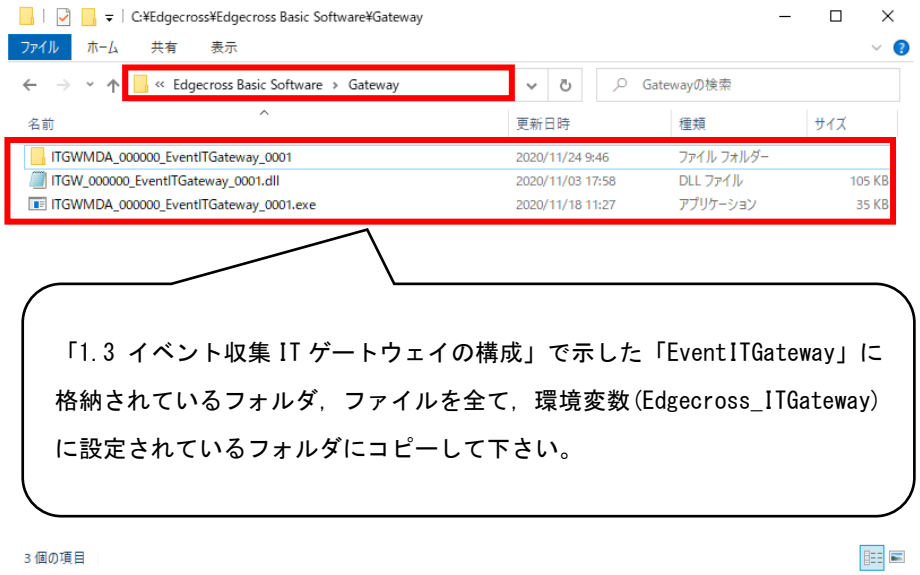
動作を停止する場合、下記を参照してください。

☞34ページ　8.2　動作停止

4　インストール手順・確認

4.1　インストール手順

環境変数(Edgecross_ITGateway)に設定されているフォルダに，「1.3　イベント収集 IT ゲートウェイの構成」の「EventITGateway」で示したフォルダとファイルを格納してください。



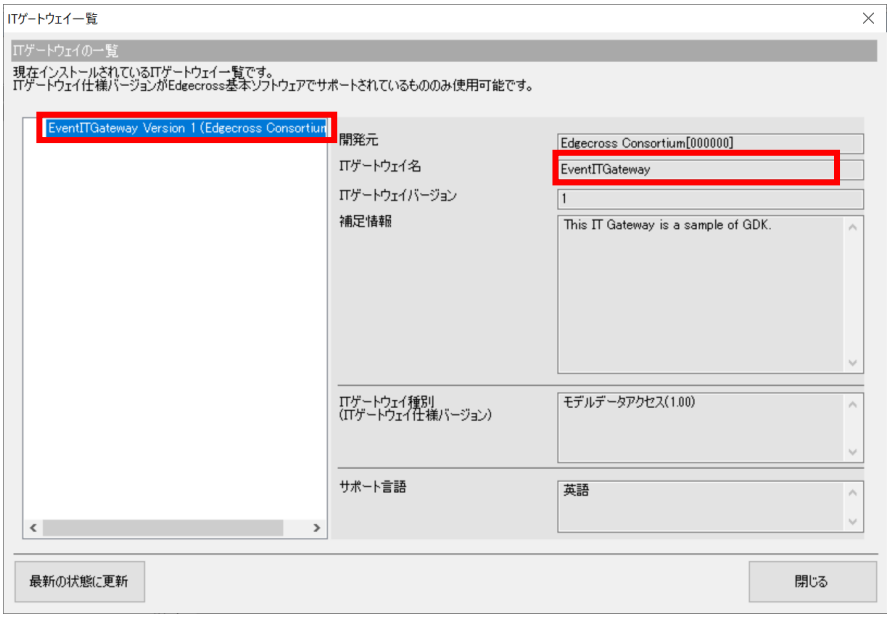
「1.3 イベント収集 IT ゲートウェイの構成」で示した「EventITGateway」に格納されているフォルダ，ファイルを全て，環境変数(Edgecross_ITGateway)に設定されているフォルダにコピーして下さい。

4.2　インストール確認

マネジメントシェルエクスプローラを起動し，メニューバー→「ヘルプ(H)」→「IT ゲートウェイ一覧(G)」で「EventITGateway」が表示されていることが確認できればインストールは完了です。

「4.1　インストール手順」が適切に実行されているにも関わらず，「EventITGateway」が表示されていない場合，Windows セキュリティ機能にブロックされている可能性があります。

「8.4　Windows セキュリティブロックの対策」を参照してください。



5　機能

5.1　イベント収集機能

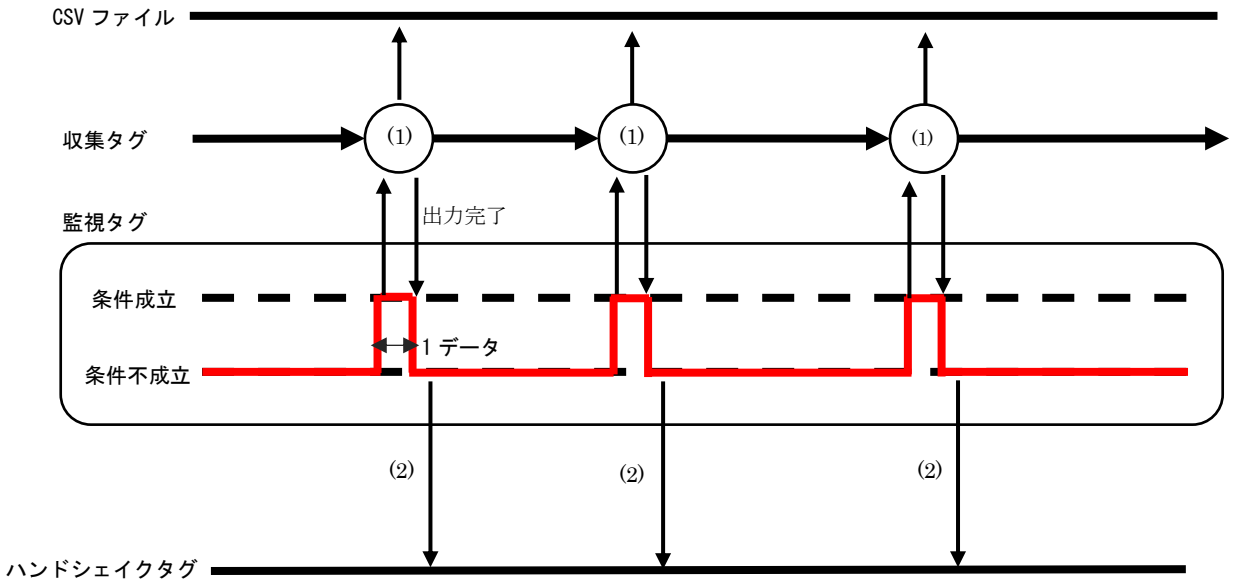
監視対象に指定したデータタグリソースの値が変化したタイミングで，収集対象に指定したデータタグリソースの値を収集し，CSV ファイルに保存する機能です。また書き込み対象に指定したデータタグリソースに，任意の値を書き込むこともできます。

動作仕様

イベント収集機能の動作仕様を示します。

収集機能

監視対象のデータタグリソース(監視タグ)に比較条件を設定し，その比較条件の成立をトリガとして，収集対象のデータタグリソース(収集タグ)の値を収集し，書き込み対象のデータタグリソース(ハンドシェイクタグ)に任意の値を書き込みます。収集した値は，CSV ファイルに保存されます。



(1) データ収集・CSV ファイル出力

(2) データタグリソースに書き込み

■監視タグ

監視タグとは，監視対象のデータタグリソースです。監視タグに登録されたデータタグリソースに比較条件を設定し，データ収集を実行するトリガとなります。

項目		内容
監視対象		外部データタグリソース
対応するデータ型		・BOOL(False，True) ・INT(-32768～32767) ・UINT(0～65535) ・DINT(-2147483648～2147483647) ・UDINT(0～4294967295) ・LINT(-9223372036854775808～9223372036854775807) ・ULINT(0～18446744073709551615) ・REAL(0，1.40129846E-45(絶対値)～3.40282346E38(絶対値)) ・LREAL(0，4.9406564584124654E-324(絶対値)～1.7976931348623158E308(絶対値)) ・STRING※1(文字列(ASCII)32文字以内) ・WSTRING※1(文字列(Unicode)16文字以内)
比較条件		－
	BOOL	以下より選択してください。 ・True ・False
	INT	以下，同値関係の比較や大小関係の比較から選択してください。 ・= ・◇ ・>= ・<= ・>= ・<=
	UINT	
	DINT	
	UDINT	
	LINT	
	ULINT	
	REAL	
	LREAL	
	STRING	以下，同値関係の比較から選択してください。 ・= ・◇
	WSTRING	
監視点数		1点

※1 Edgecross 基本ソフトウェアの仕様に準拠しています。詳細については下記を参照してください。

☞Edgecross 基本ソフトウェア Windows 版ユーザーズマニュアル

■収集タグ

収集タグとは，収集対象のデータタグリソースです。収集タグに登録されたデータタグリソースのデータ名とデータの値が CSV ファイルに出力されます。

項目	内容
収集対象	・外部データタグリソース ・内部データタグリソース
対応するデータ型	・BOOL ・INT ・UINT ・DINT ・UDINT ・LINT ・ULINT ・REAL ・LREAL ・STRING ・WSTRING
収集点数	1～1024点

■ハンドシェイクタグ

ハンドシェイクタグとは，書き込み対象のデータタグリソースです。ハンドシェイクタグに登録されたデータタグリソースに，指定した任意の値を書き込みます。

項目	内容
ハンドシェイク対象	・外部データタグリソース
対応するデータ型	・BOOL(0, 1) ・INT(-32768～32767) ・UINT(0～65535) ・DINT(-2147483648～2147483647) ・UDINT(0～4294967295) ・LINT(-9223372036854775808～9223372036854775807) ・ULINT(0～18446744073709551615) ・REAL(0, 1.40129846E-45(絶対値)～3.40282346E38(絶対値)) ・LREAL(0, 4.9406564584124654E-324(絶対値)～1.7976931348623158E308(絶対値)) ・STRING※1(文字列(ASCII)32文字以内) ・WSTRING※1(文字列(Unicode)16文字以内)
書き込み点数	1点

※1 Edgecross 基本ソフトウェアの仕様に準拠しています。詳細については下記を参照してください。

☞Edgecross 基本ソフトウェア Windows 版ユーザーズマニュアル

ファイル保存機能

イベント収集機能で収集したデータをファイルに保存します。

■ファイル出力

出力対象データである収集タグのデータは，保存先フォルダ内の TMP フォルダ※1 に，蓄積中ファイルとして一時的に保存されます。

※1 イベント収集機能の動作開始時に生成されます。

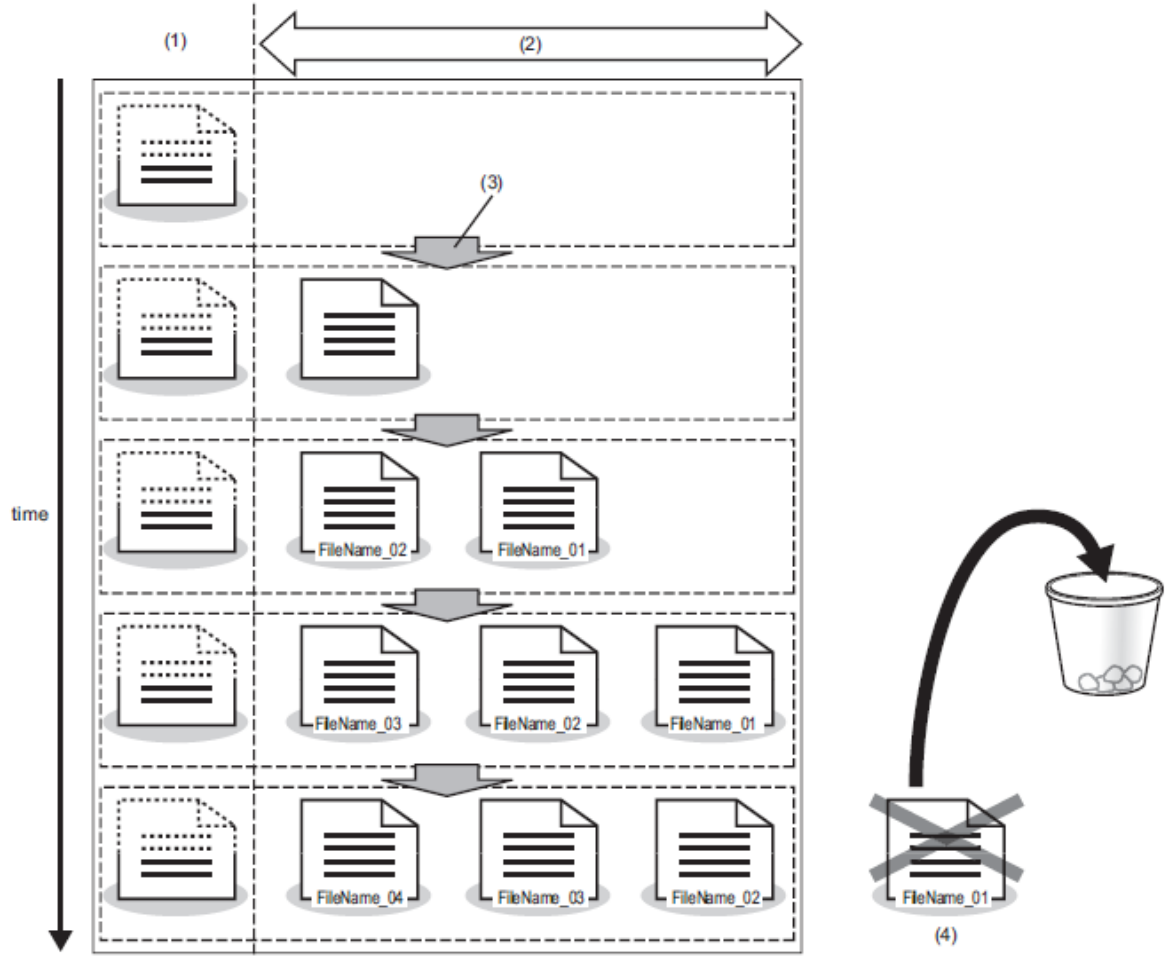
蓄積中のファイルのサイズの予期しない増大を防ぐため，指定した行数に達したときにファイルが切り替わります。

ファイル切替えとは、蓄積中ファイルのファイル名を保存ファイルの名称に変更し，保存先フォルダに移動させることです。（ファイル切替え後は新しい蓄積中ファイルが作成されます。）

イベント収集機能の動作が停止した場合，指定行数未満であっても蓄積中ファイルは保存ファイルに変更されます。（この時、新しい蓄積中ファイルは作成されません。）

ただし，蓄積中ファイルの出力データが 0 件であれば，ファイルは切り替わらず，蓄積中ファイルが削除されます。

保存ファイルは，指定した個数まで保存されます。なお、指定の個数を超えた場合は，古いファイルから順番に削除されます。



(1) 蓄積中ファイル
(2) 保存ファイル(若い番号が古いファイル)
(3) ファイル切替え
(4) 削除されるファイル

■ファイル削除

出力したファイルが指定したファイル数に達したときに，古いファイルから削除します。

ファイル名末尾の 8 桁の連番を使用してファイルの新旧を比較し、若い番号のファイルから順に削除します。

■ファイル形式

出力できるファイル形式は下記のとおりです。

項目	内容
ファイル名	ファイル名接頭語_接尾語.拡張子
ファイル名接頭語	1～32文字
接尾語	00000001～99999999
拡張子	csv
区切り文字	カンマ(,)
改行コード	CRLF(0x0D, 0x0A)
文字コード	UTF-8(BOM付き)
列数	最大1025列 ・日時列：1列 ・データ列：1024列

■出力データ

ファイルに出力するデータは下記のとおりです。

項目	内容
データ名行	日時列
	データ列
データ行	・日時 ・BOOL ・INT ・UINT ・DINT ・UDINT ・LINT ・ULINT ・REAL ・LREAL ・STRING ・WSTRING

■注意事項

ファイル保存機能の注意事項を示します。

・出力ファイルの保存先は，ローカルディスクとしてください。

・アクセスが制限されているフォルダを保存先として設定する場合，マネジメントシェルエクスプローラを起動するユーザアカウントの「変更」「読み取り」「書き込み」が許可されていることを確認してください。

・他アプリケーションが蓄積中ファイルにアクセスしないようにしてください。ファイルの作成/更新に失敗してエラーとなる場合があります。

・ファイル名接頭語と保存先フォルダの設定が，リアルタイムフローマネージャのファイル保存機能の設定と重複しないことを確認してください。イベント収集機能とリアルタイムフローマネージャが互いに干渉し，誤作動やエラーが発生する可能性があります。リアルタイムフローマネージャのファイル保存機能については下記を参照してください。

☞Edgecross基本ソフトウェアWindows版ユーザーズマニュアル

・出力しているファイルのファイル名接尾語が「99999999」に達した場合は，イベント収集機能の動作を停止して，下記いずれかの処置を行ってください。

-保存先フォルダ内のファイルをすべて別フォルダに移動，または削除してイベント収集機能の動作を再度開始する

-保存先フォルダに別パスを設定し直す

-ファイル接頭語を変更する

・保存先フォルダにファイルまたはフォルダを大量に置くと，動作開始処理に時間を要す，または失敗する場合があります。

6　ITゲートウェイ設定

6.1　初期設定

イベント収集ITゲートウェイの初期設定の手順を示します。

(1)　マネジメントシェルエクスプローラを**管理者権限で**起動します。

管理者権限での起動方法については下記を参照してください。

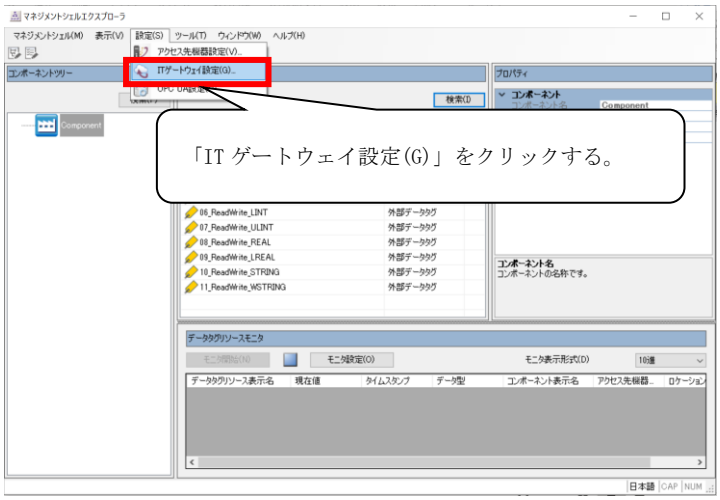
☞ Edgecross基本ソフトウェアWindows版ユーザーズマニュアル

(2)　任意のデータコレクタを用いて、データタグリソースの登録を行います。

データコレクタの設定方法については、使用するデータコレクタのマニュアルを参照してください。

データタグリソースの登録方法については、Edgecross基本ソフトウェアWindows版ユーザーズマニュアルを参照してください。

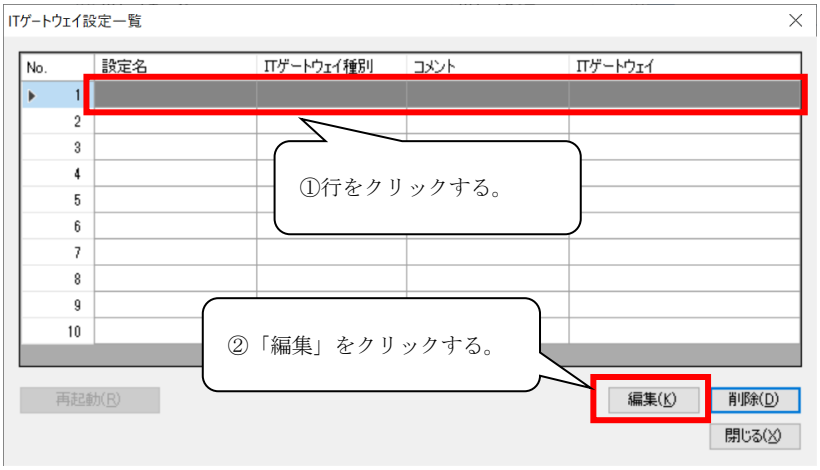
(3)　[設定]→[ITゲートウェイ設定]を選択します。



イベント収集 IT ゲートウェイの初回実行時は(4)～(7)を実施ください。

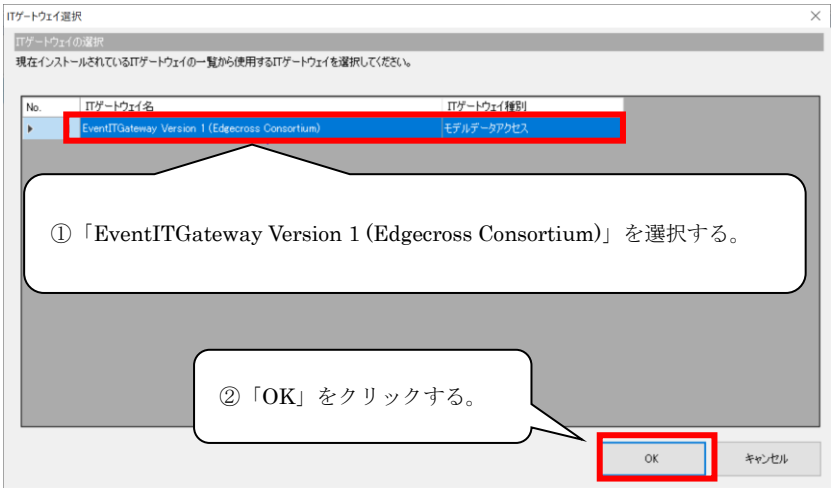
イベント収集 IT ゲートウェイが既に“IT ゲートウェイ設定一覧”に登録されている場合、(8)以降の手順を実施ください。

(4)　“ITゲートウェイ設定一覧”画面でITゲートウェイ設定が未設定の行を選択し，[編集]ボタンをクリックします。



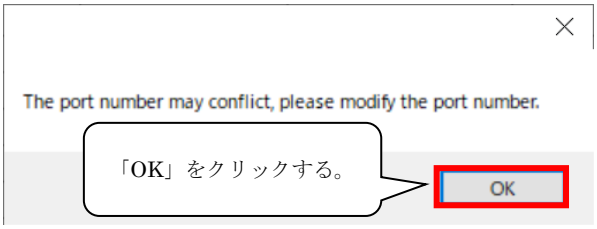
(5) イベント収集ITゲートウェイの設定を行います。

なお、本手順はイベント収集ITゲートウェイが“ITゲートウェイ設定一覧”に登録済みであれば次回以降は不要になります。



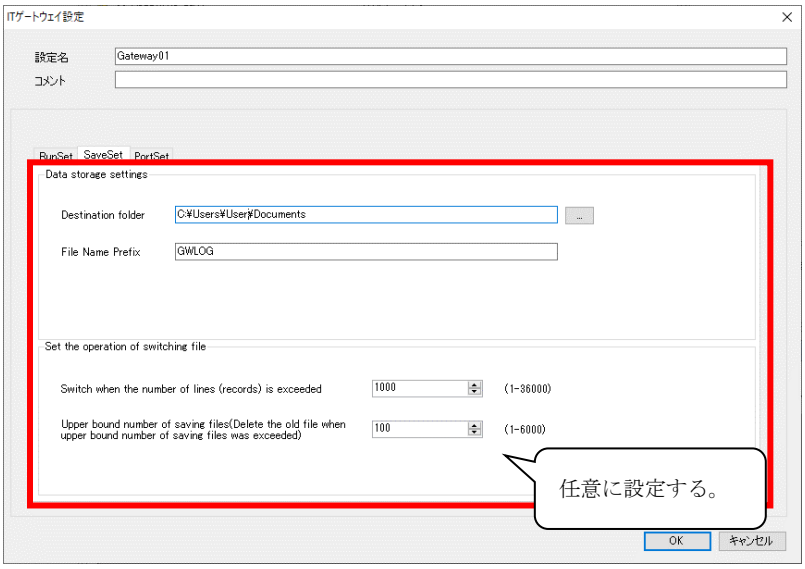
※イベント収集ITゲートウェイは，デフォルトでポート番号52000を設定しています。

使用するPCが既に52000を使用している場合は，下記のダイアログが表示されます。



上記ダイアログが表示された場合，手順(7)を実施しポート番号を変更してください。

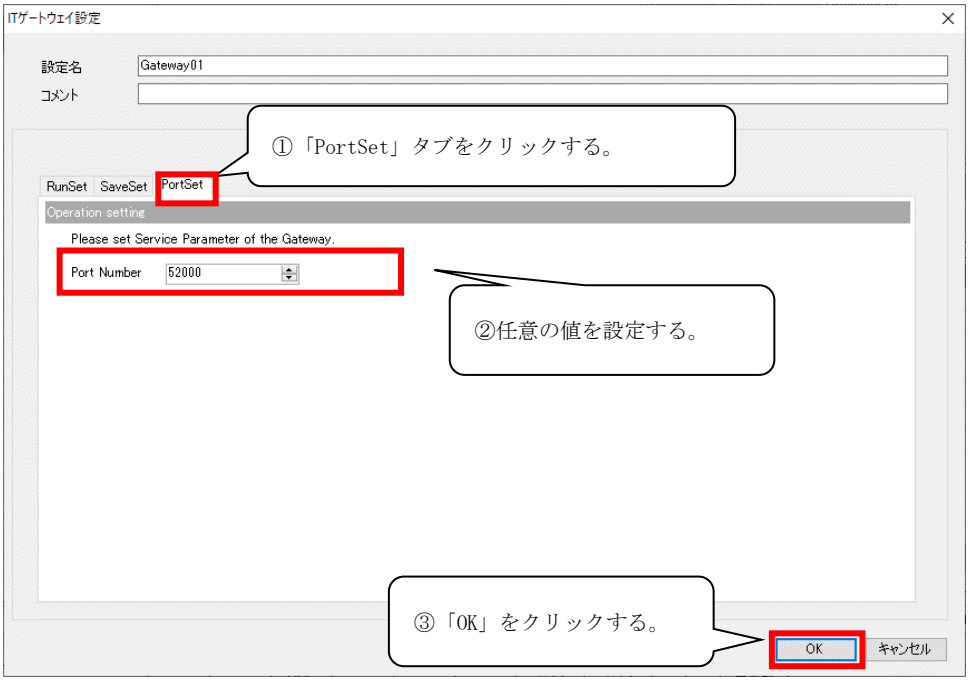
(6) ファイルの保存先やファイル名、ファイルの切り替え動作について設定します。



※本画面について詳細は下記を参照してください。

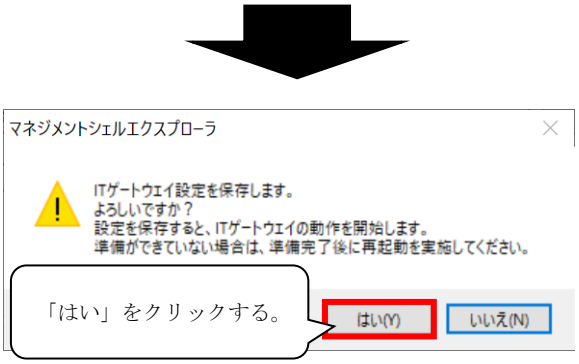
☞「7.1　ファイル出力設定画面」

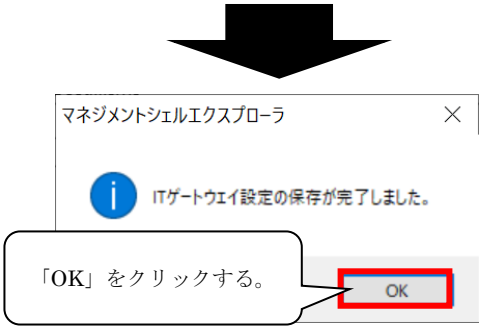
(7) 通信に使用するポート番号を設定します。



※本画面については、下記を参照してください。

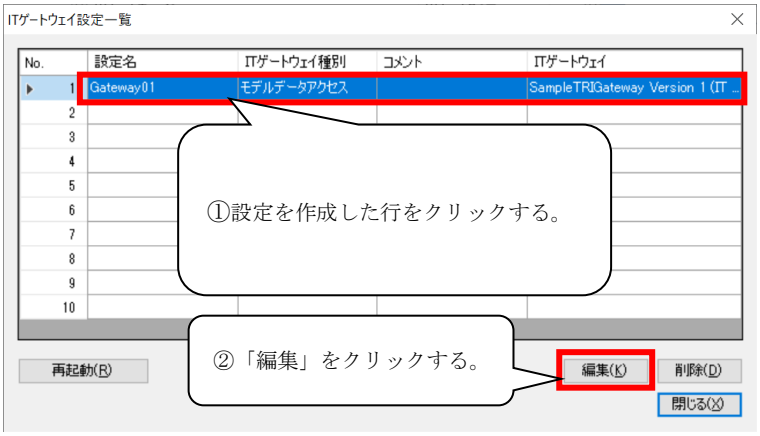
☞「7.2　ポート番号設定画面」

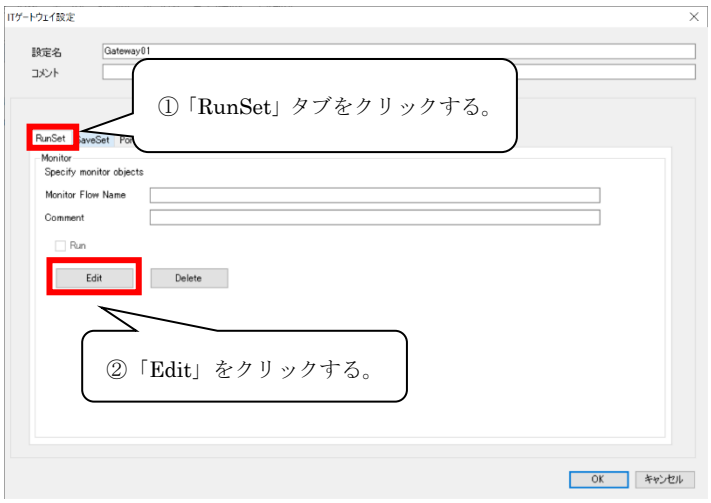




※新規で IT ゲートウェイの設定を行う場合，一度 IT ゲートウェイの設定をマネジメントシェルに登録しないとイベント収集の設定ができません。

(8) イベント収集ITゲートウェイの動作設定(イベント収集機能の設定)を行なうため、TriggerForm画面を開きます。

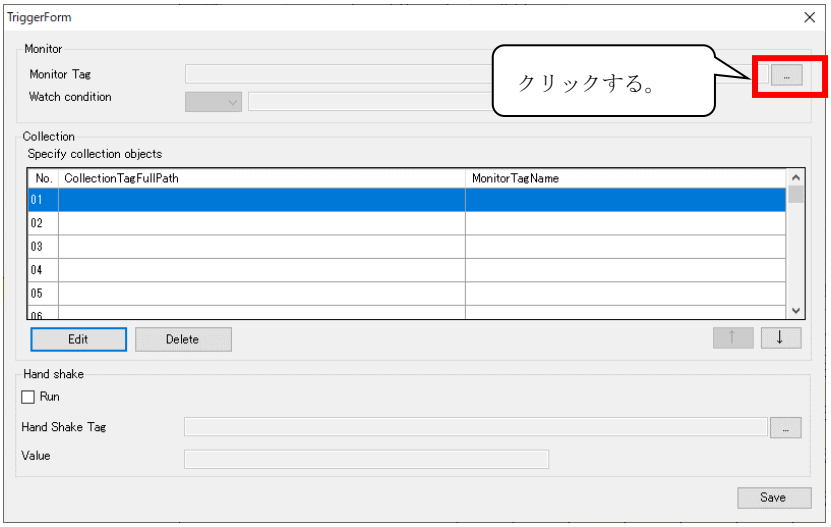




※本画面について詳細は下記を参照してください。

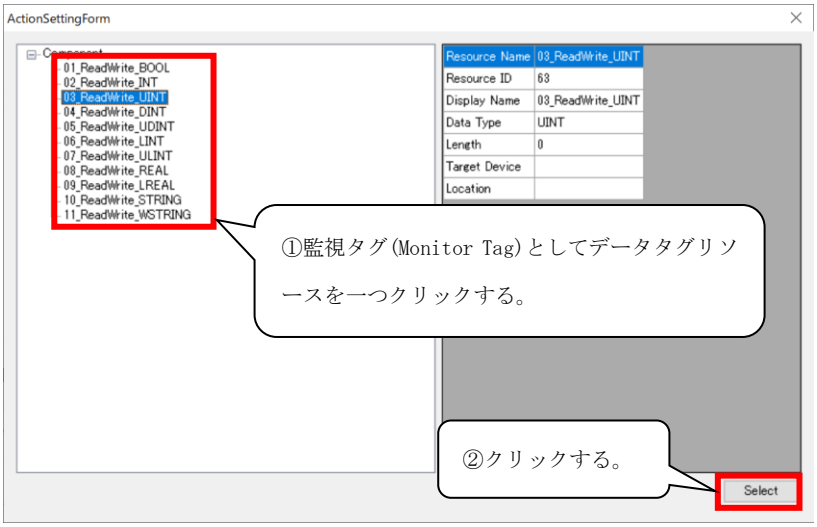
☞「7.3　イベント収集制御画面」

(9) 監視タグ(Monitor Tag)を設定します。



※本画面について詳細は下記を参照してください。

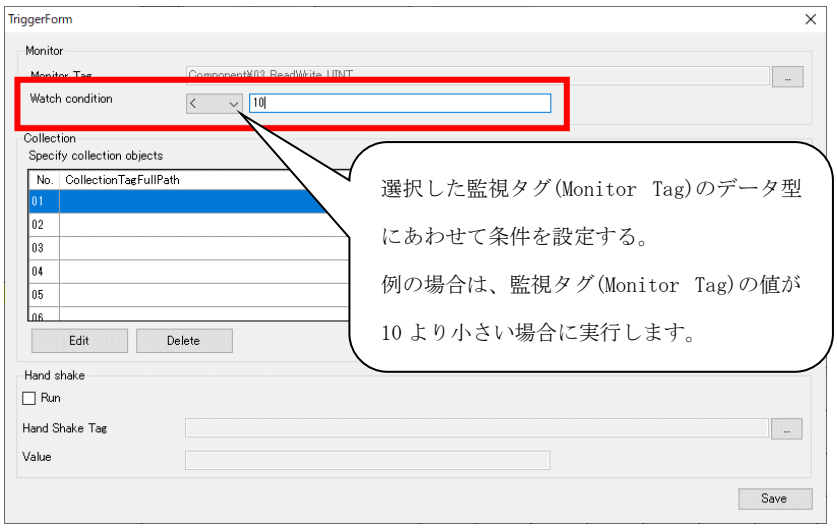
☞「7.4　TriggerForm画面」



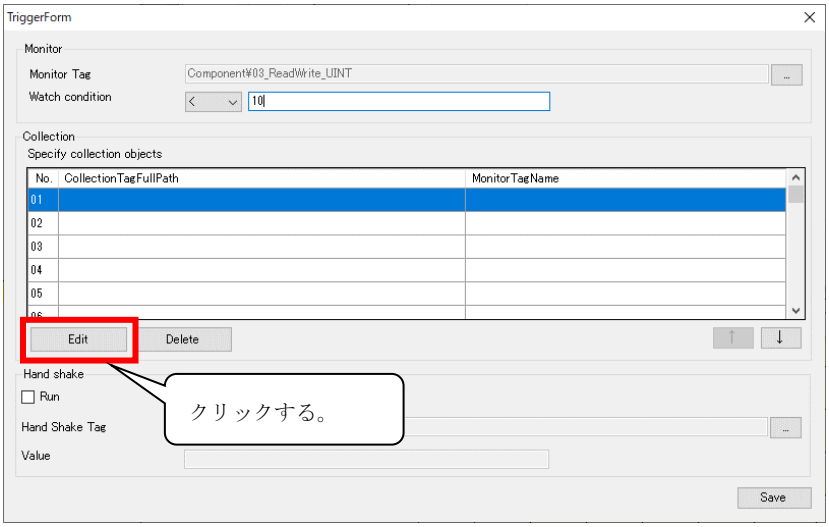
※本画面について詳細は下記を参照してください。

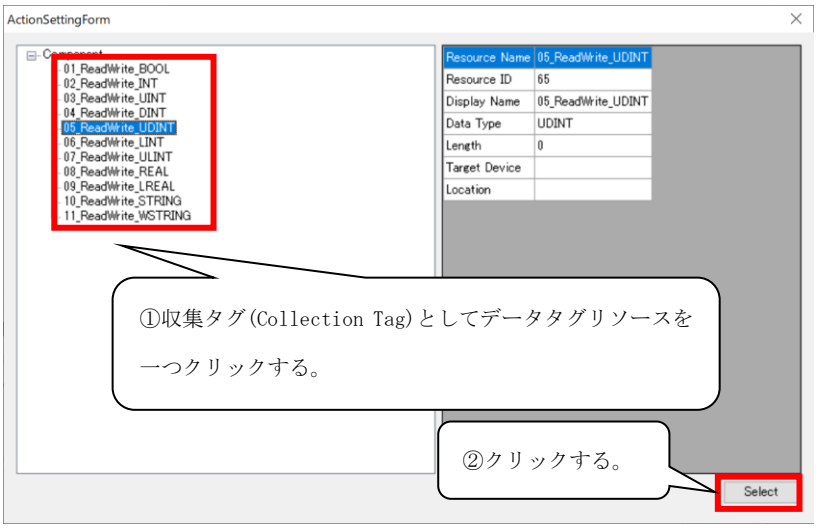
☞「7.5　ActionSettingForm画面」

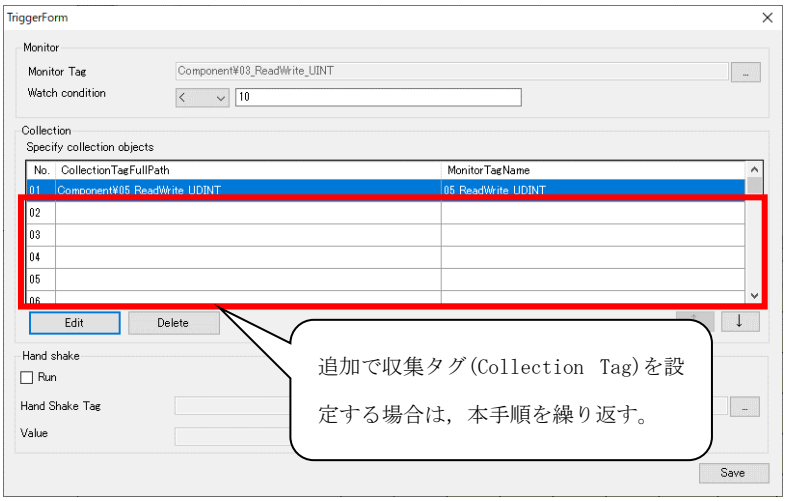
(10) 監視タグ(Monitor Tag)の比較条件を設定します。設定内容は任意です。



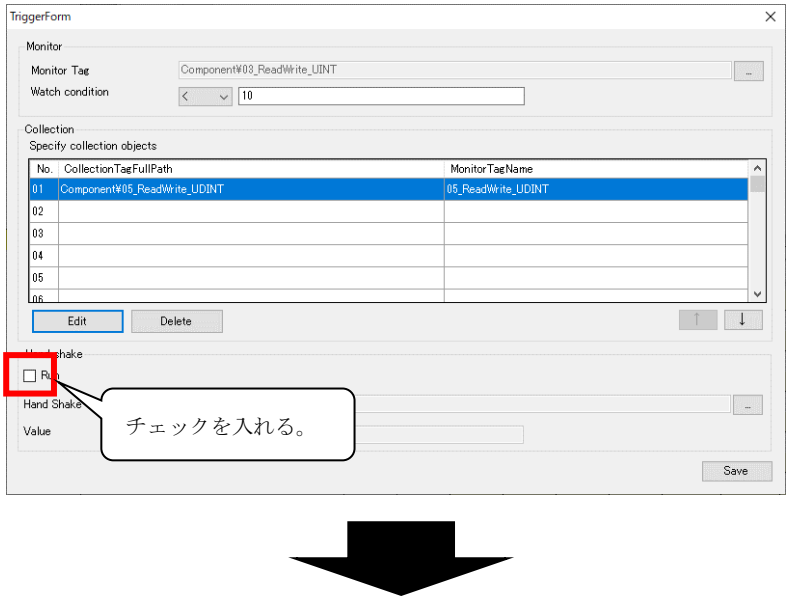
(11) 監視タグ(Monitor Tag)が比較条件を満たした時に，CSVファイルに出力する収集タグ(Collection Tag)を設定します。収集タグ(Collection Tag)と収集点数は任意です。

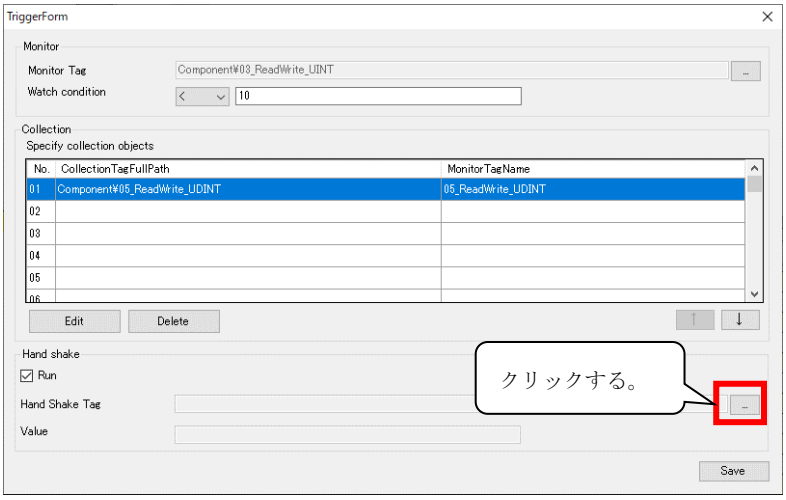


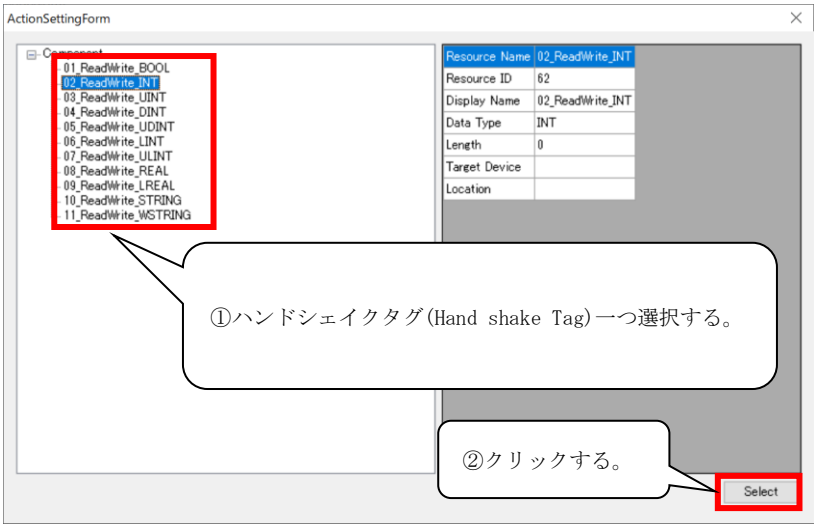


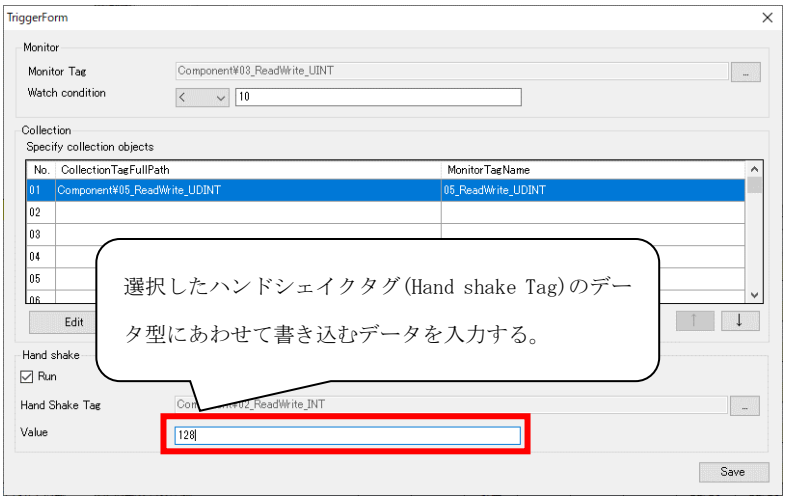


(12) 監視タグ(Monitor Tag)が比較条件を満たした際に，データを書き込むハンドシェイクタグ(Hand shake Tag)を設定します。ハンドシェイクタグの設定は任意です。「Run」にチェックを入れるとHand shakeを実行し、「Run」にチェックを入れていないとHand Shakeは実行されません。

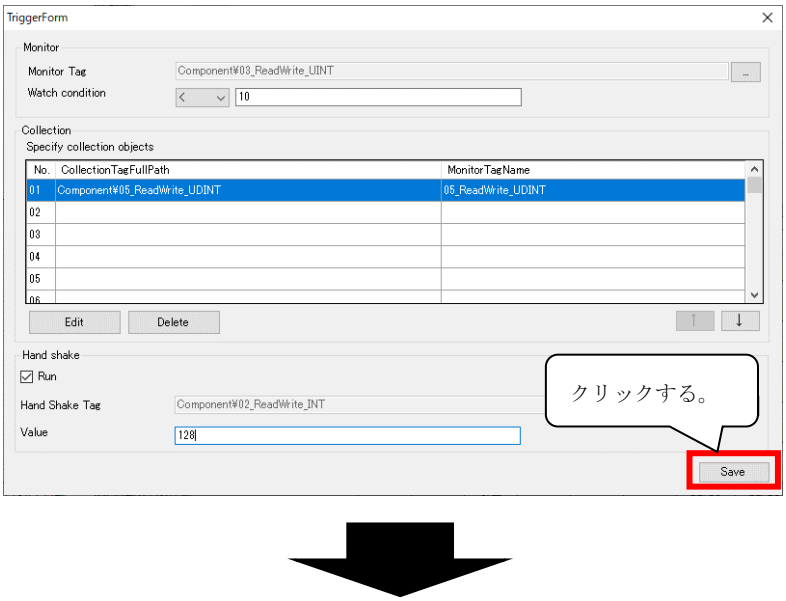




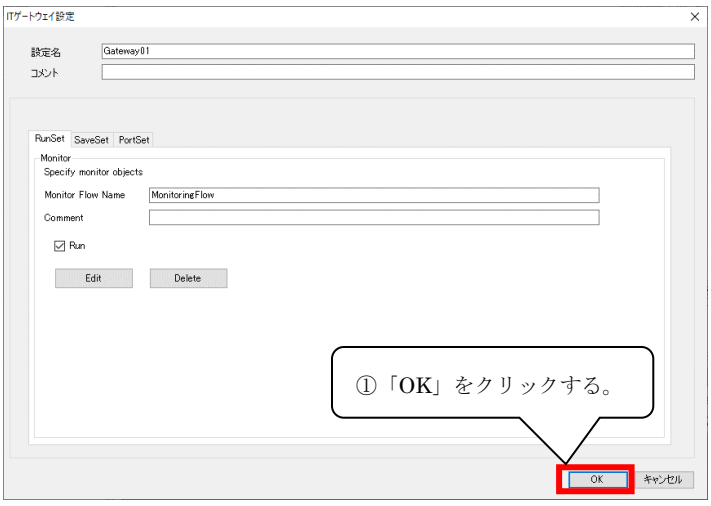


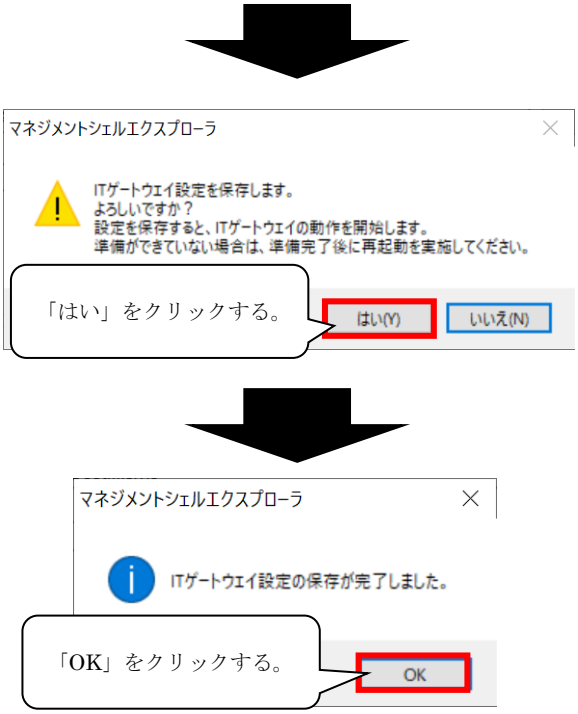


(13) 設定を保存します。



「Run」にチェックを入れることでイベント収集ITゲートウェイの動作を開始します。詳細は「8.1　動作開始」を参照ください。

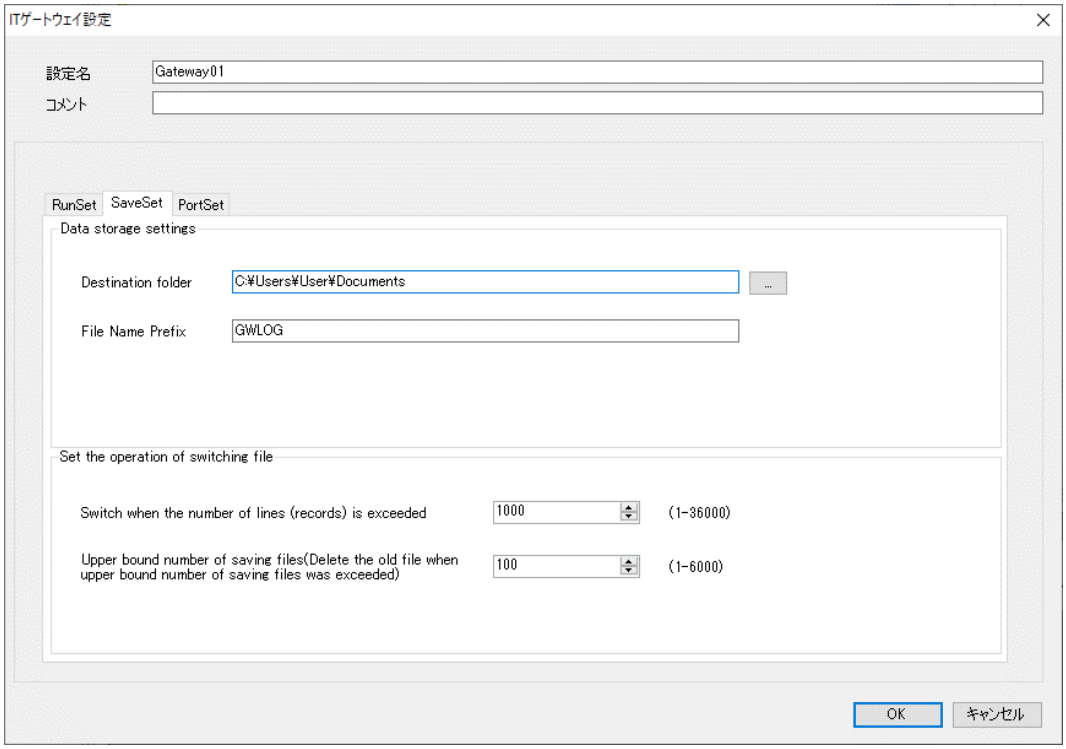



マネジメントシェルエクスプローラ
ITゲートウエイ設定を保存します。
よろしいですか？
設定を保存すると、ITゲートウエイの動作を開始します。
準備ができていない場合は、準備完了後に再起動を実施してください。
「はい」をクリックする。
はい(Y)
いいえ(N)
マネジメントシェルエクスプローラ
ITゲートウエイ設定の保存が完了しました。
「OK」をクリックする。
OK

7　パラメータ設定

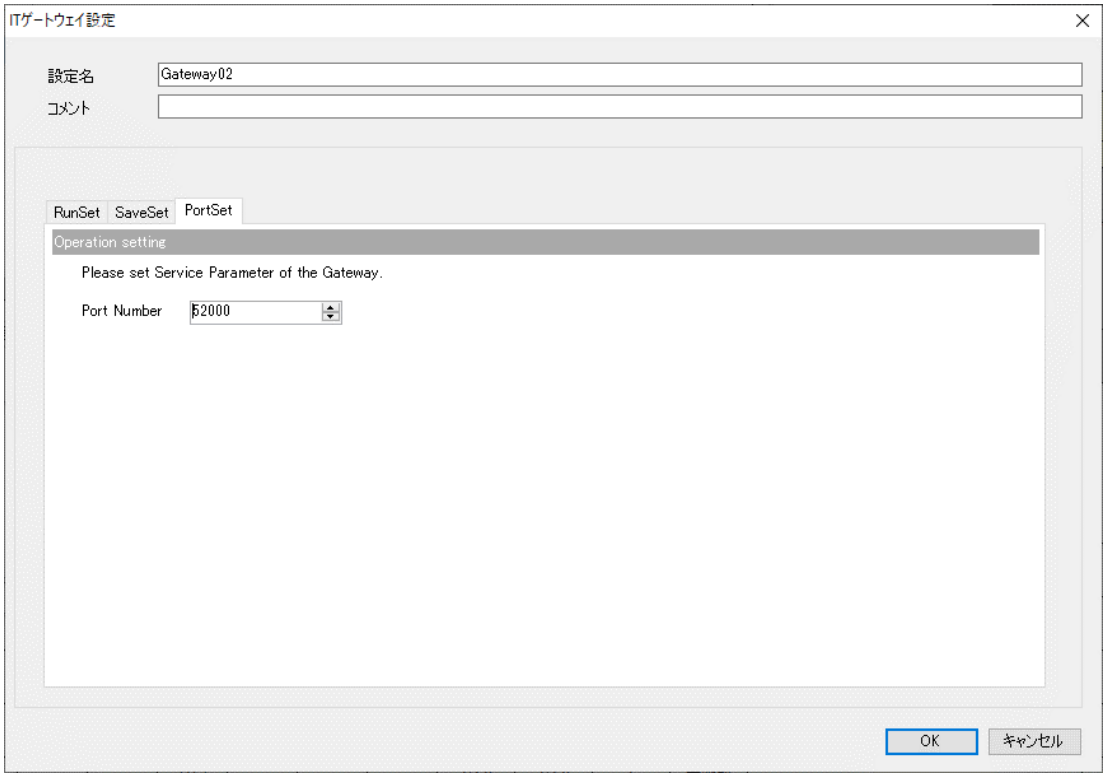
7.1　ファイル出力設定画面

ファイルの保存先やファイル名、ファイルの切り替え動作について設定します。



項目	内容
設定名	任意※ ※設定内容については下記を参照してください。 ☞ Edgecross基本ソフトウェアWindows版ユーザーズマニュアル
コメント	任意※ ※設定内容については下記を参照してください。 ☞ Edgecross基本ソフトウェアWindows版ユーザーズマニュアル
Destination folder	ファイルの保存先(1～204文字)を設定します [...]ボタンをクリックすることで表示される"フォルダーの参照"画面で設定することもできます。 ※ファイルの保存先は，ローカルディスクのみ対応です。
File Name Prefix	保存ファイル名の接頭語(1～32文字)を設定します。
Switch when the number of lines (records) is exceeded	1ファイルに格納するデータ行数を設定します。 この行数を超過した場合に，ファイルが出力されます。
Upper bound number of saving files(Delete the old file when upper bound number of saving files was exceeded)	1フォルダに格納するファイル数の上限を設定します。 このファイル数を超過する場合には，最も古いファイルから削除されます。

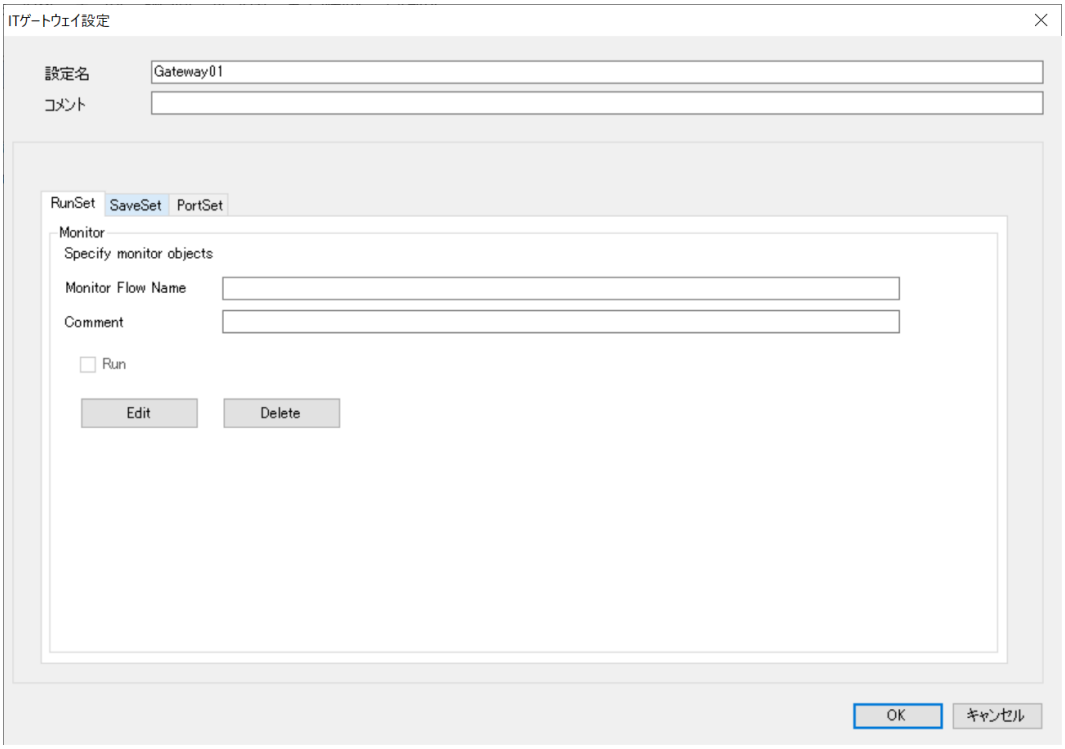
7.2　ポート番号設定画面



項目	内容
設定名	任意※ ※設定内容については下記を参照してください。 ☞ Edgecross基本ソフトウェアWindows版ユーザーズマニュアル
コメント	任意※ ※設定内容については下記を参照してください。 ☞ Edgecross基本ソフトウェアWindows版ユーザーズマニュアル
Port Number	通信に使用するポート番号(1～65535)を指定します。 他機能で使用しているポート番号と重複しない様に指定してください。

7.3　イベント収集制御画面

イベント収集の制御を行います。



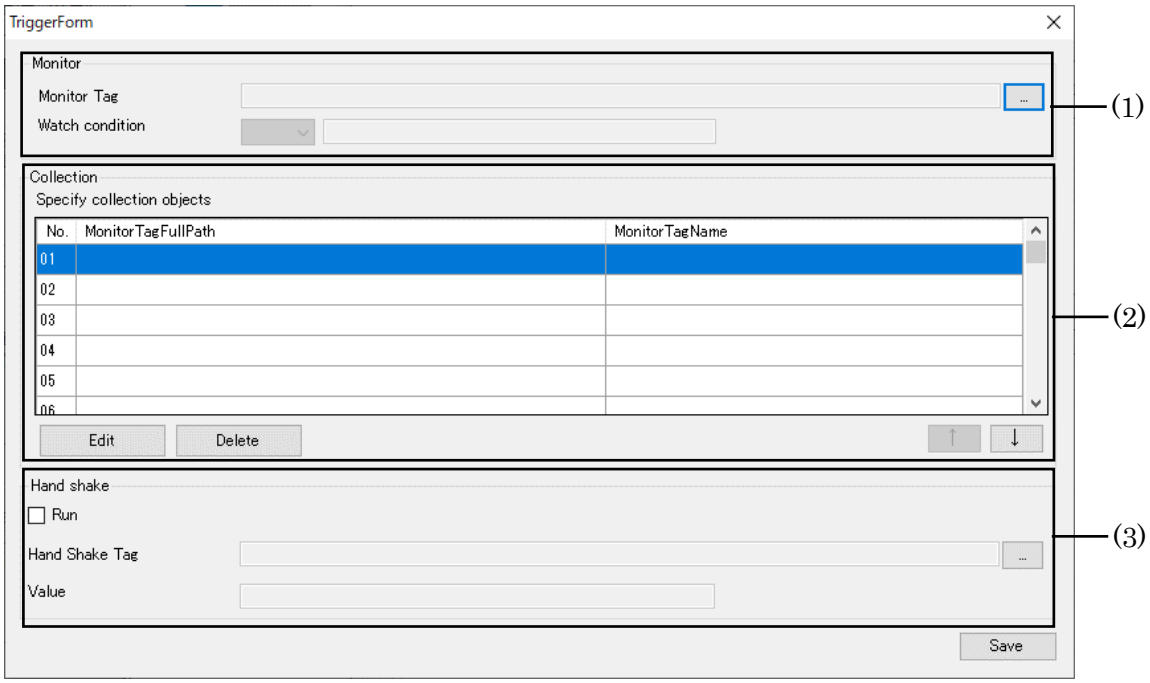
項目	内容
設定名	任意※ ※設定内容については下記を参照してください。 ☞ Edgecross基本ソフトウェアWindows版ユーザーズマニュアル
コメント	任意※ ※設定内容については下記を参照してください。 ☞ Edgecross基本ソフトウェアWindows版ユーザーズマニュアル
Monitoring Flow Name	任意の監視フロー名(32文字まで)を設定します。
Comment	任意のコメント(100文字まで)を設定します。
Run	チェックを入れる場合、[Edit]ボタンで設定済みのイベント収集を実施します。 チェックを入れない場合、[Edit]ボタンで設定済みでもイベント収集は実施しません。 ※[Edit]ボタンで設定を完了すると，チェックが可能になります。
[Edit]ボタン	イベント収集を設定する"TriggerForm"画面を起動します。 " TriggerForm"画面については下記を参照してください。 ☞7.4　TriggerForm画面
[Delete]ボタン	イベント収集設定を削除し、初期化します。

注意事項

・　新規でITゲートウェイを設定する場合、[Edit]ボタンはクリックできないため、一度、[OK]ボタンで設定を保存してから、イベント収集の設定を行なってください。

7.4　TriggerForm画面

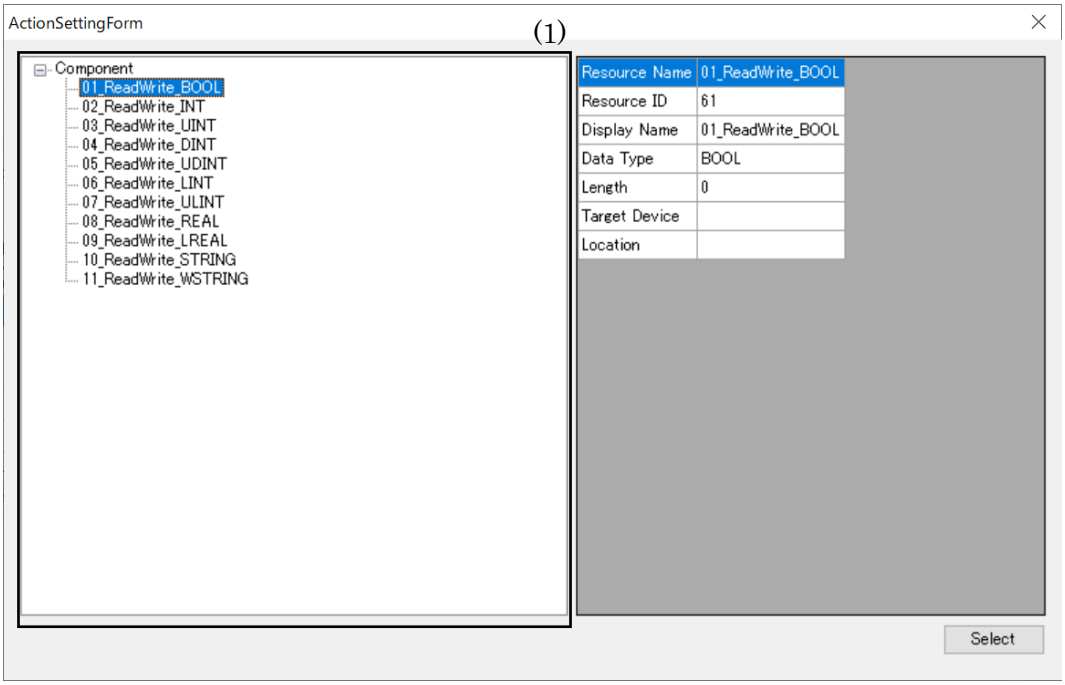
イベント収集の設定を行います。



項目		内容
(1)Monitor	Monitor Tag	[...]ボタンをクリックすることで表示される"ActionSettingForm"画面で監視タグを設定します。 "ActionSettingForm"画面については下記を参照してください。 ☞7.5　ActionSettingForm画面
	Watch condition	監視タグの比較条件を設定します。 各データ型の対応範囲の値を入力することができます。 対応範囲については下記を参照してください。 ☞[5.1　イベント収集機能]＞[動作仕様]＞[収集機能]＞[監視タグ]＞[対応するデータ型]
(2)Collection	Specify collection objects	対象の行を選択し、[Edit]ボタンをクリックすることで表示される"ActionSettingForm"画面で収集タグを設定します。 "ActionSettingForm"画面については下記を参照してください。 ☞7.5　ActionSettingForm画面
	[Edit]ボタン	"ActionSettingForm"画面を起動します。 "ActionSettingForm"画面については下記を参照してください。 ☞7.5　ActionSettingForm画面
	[Delete]ボタン	"Specify collection objects"で選択した行を削除します。
	[↑]ボタン	"Specify collection objects"で選択した行を一つ上の行と入れ替えます。 行を入れ替えることで、CSVファイルに出力される順番が変更されます。
	[↓]ボタン	"Specify collection objects"で選択した行を一つ下の行と入れ替えます。 行を入れ替えることで、CSVファイルに出力される順番が変更されます。
(3)Hand shake	Run	チェックを入れた場合、データの書き込みを実行します。 チェックを入れない場合、データの書き込みは実行されません。
	Hand Shake Tag	[...]ボタンをクリックすることで表示される"ActionSettingForm"画面でハンドシェイクタグを設定します。 "ActionSettingForm"画面については下記を参照してください。 ☞7.5　ActionSettingForm画面
	Value	書き込む値を設定します。 書き込みが可能な範囲についてはデータ型ごとに下記を参照してください。 ☞[5.1　イベント収集機能]＞[動作仕様]＞[収集機能]＞[ハンドシェイクタグ]＞[対応するデータ型]
[Save]ボタン		本画面で設定したイベント収集設定を保存します。

7.5　ActionSettingForm画面

監視タグ，収集タグおよびハンドシェイクタグのデータタグリソースを選択します。



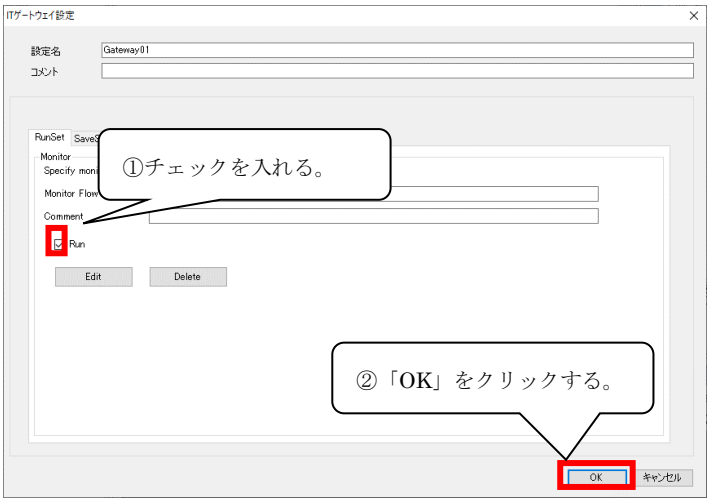
項目	内容
(1)タグ選択ウィンドウ	マネジメントシェルエクスプローラで設定済みの階層構造が表示されます。 下記を選択して[Select]ボタンで、選択した設定を保存することができます。 ・外部データタグリソース ・内部データタグリソース
[Select]ボタン	(1)タグ選択ウィンドウで選択した設定を保存し、画面を閉じます。

8　動作手順

8.1　動作開始

イベント収集 IT ゲートウェイの動作開始の手順を示します。

イベント収集制御画面で「Run」にチェックを入れて保存することにより、マネジメントシェル動作時にイベント収集 IT ゲートウェイの動作を開始できます。



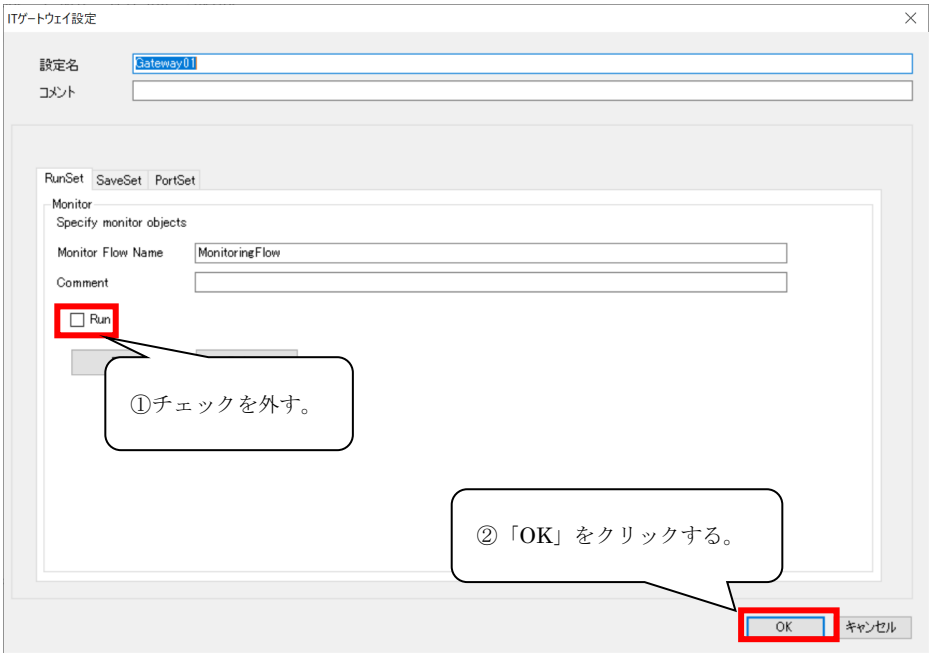
8.2　動作停止

本体の動作を停止する(監視を停止する)手順は 2 通りあります。

①　マネジメントシェルを停止する。

☞　Edgecross基本ソフトウェアWindows版ユーザーズマニュアル

②　イベント収集制御画面で「Run」のチェックを外して保存する。



☞　31ページ　7.3　イベント収集制御画面

8　トラブルシューティング

8.1　エラー内容の確認方法

エラー内容の確認には，下記の方法があります。

確認方法	詳細
マネジメントシェルエクスプローラ	マネジメントシェルエクスプローラの"エラー情報一覧"画面によりエラーコードを確認できます。 詳細は下記を参照してください。 ☞ Edgecross基本ソフトウェアWindows版ユーザーズマニュアル

8.2　エラーコード一覧

イベント収集 IT ゲートウェイを使用するうえで発生するエラーコードを示します。

エラーコード	メッセージ内容	エラー内容	処置内容
0001	Listen start error	Listen start failure.	・Make sure that the specified port number is available and then reconsider the IT Gateway setting.
0002	File open error	Save file open failure.	・Make sure that the specified directory is writable. ・Make sure that the specified file is writable. ・Make sure that the disk space is enough.
0003	Folder create error	Save Folder create failure.	・Make sure that the specified directory is writable. ・Make sure that the disk space is enough.
0004	Move file error	Move file failure.	・Make sure that the File specified by newname already exists or could not be created.
0005	Parameter file open error	Open parameter file failure.	・Make sure that the specified file exists. ・Make sure that the specified file is readable. ・Please reset the parameters.
0006	Parameter file contents error	There is an error in the parameter file.	・Please reset the parameters.

8.3　イベントコード一覧

イベント収集 IT ゲートウェイにイベントコードは発生しません。

8.4　Windowsセキュリティブロックの対策

ファイルを実行する際、Windows セキュリティ機能によりブロックされてしまった場合の対処方法は下記の通りです。

＜現象＞

イベント収集 IT ゲートウェイを指定の場所へ貼り付けし、Edgecross 基本ソフトウェアのマネジメントシェルエクスプローラを起動し「IT ゲートウェイ一覧」を表示したが「EventITGateway」が画面に表示されない。

＜原因＞

Windows がセキュリティ機能で.exe と.dll ファイルの読込みをブロックしている可能性があります。

＜処置方法＞

下記手順で該当の.exe と.dll ファイルのブロックを解除してください。

1. 以下対象ファイルのプロパティ画面を表示する。
   - ITGWMDA_000000_EventITGateway_0001.exe
   - ITGW_000000_EventITGateway_0001.dll
   - SampleMDALibrary.dll [ITGWMDA_000000_EventITGateway_0001]フォルダ内に格納
2. プロパティ画面の全般タブ下部の「セキュリティ」グループに［ブロックの解除］というチェックボックスがあるので、これをオンにする。
   ※「セキュリティ」グループに［ブロックの解除］が表示されない場合は、セキュリティ機能でブロックされていません。他の要因が考えられるため、Edgecrossコンソーシアムまでお問い合わせください。
3. 適用ボタンをクリックして設定を反映する。
4. Edgecross基本ソフトウェアのマネジメントシェルエクスプローラを起動し、「EventITGateway」が表示されることを確認する。

索引

A

ActionSettingForm 画面 33

T

TriggerForm 画面 32

W

Windows セキュリティブロックの対策 36

い

イベントコード一覧 35

イベント収集 IT ゲートウェイの構成 9

イベント収集機能 13

イベント収集制御画面 31

インストール確認 12

インストール手順 12

え

エラーコード一覧 35

エラー内容の確認方法 35

か

概要 8

き

機能仕様 10

し

初期設定 20

と

動作開始 34

動作概要 8

動作仕様 14

動作停止 3

ふ

ファイル出力設定画面 29

ほ

ポート番号設定画面 30

ほ

MEMO

改訂履歴

文書コードは,本説明書の表紙の右下に記載してあります。

改訂年月	文書コード	改訂内容
2021年1月	ECD-MA5-0002-01-JA	初版

本書によって，工業所有権その他の権利の実施に対する保証，または実施権を許諾するものではありません。また本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権上の諸問題については，Edgecrossコンソーシアムは一切その責任を負うことができません。

2021 Edgecross Consortium

Edgecrossコンソーシアムからのご案内

●Edgecross マーケットプレイスのご案内●

各種 Edgecross 対応製品（エッジアプリケーション，データコレクタ，IT ゲートウェイ）の中から目的に応じた製品を検索し，購入できます。また，技術サポートを受けられるサポートパックも購入できます。

詳しくは Web をご覧ください。

https://www.marketplace.edgecross.org/

●Edgecross コンソーシアム入会のご案内●

ご入会されますと Edgecross に関する最新技術資料や仕様書などを無償で入手できます。また，部会活動や各種イベントを通じて会員企業と交流することができます。

詳しくは Web をご覧ください。

https://www.edgecross.org/

商標

本文中における会社名，システム名，製品名などは，一般に各社の登録商標または商標です。

本文中で，商標記号（™，®）は明記していない場合があります。

ソフトウェアに関するお問い合わせ

ソフトウェアに関するご相談は，Edgecross コンソーシアムのお問い合わせ窓口までお問い合わせください。

Edgecross コンソーシアム　お問い合わせ窓口

https://www.edgecross.org/ja/contact/form/

2021 年 1 月作成

本マニュアルは，お断りなく仕様変更することがありますのでご了承ください。